

課題設定・問題解決研修カリキュラム(例)

1 日目

	項目	内容と進め方
7 時 間 30 分	◆オリエンテーション 1. 組織における問題解決の重要性 2. 問題のとらえかた 3. リーダーとしての問題解決への姿勢 ・4択問題にもとづくディスカッション 4. 問題解決 ①問題解決のプロセス ②目標・方針を自らのものとする ③問題(テーマ)設定 5. 現状分析と本質的問題の発見 ・現象的な問題と本質的な問題 ・問題(テーマ)分析のための情報収集 ・現状分析(以下を用いて) フレームワーク・ツリー・プロセス・マトリクス ・本質的問題の発見(以下を用いて) 因果関係・ピラミッド	本研修の目的、目標を理解する。 1～3. リーダーに求められる問題解決姿勢を設問に対するディスカッション、講義によって理解する。 4. 問題を設定し、周囲を巻き込み解決していく問題解決の進め方を理解する。 5. 問題・テーマ設定の視点(何を決めれば問題が的確に設定できるか)を演習をもとに理解する。 本質的な問題を発見することの重要性、その前提となる情報収集、フレームワークを活用した現状分析の方法を演習をもとに理解する。 本質的問題発見の視点と方法を演習をもとに理解する。(ピラミッドを活用した本質的な問題のまとめ)

2 日目

	項目	内容と進め方
7 時 間 30 分	6. 解決策の立案 ・解決策の発想法 ・オプション(代替案)の作成 ・解決策の具体化・解決策の組み合わせ 7. 実行計画づくり ・実行計画のポイント 8. 総合ケース演習 ・実行とチェック・モニタリング ・「対立から合意へ」の視点 ・チェックとモニタリング	6. 多角的に解決策を発想する方法を演習を通して理解する。 7. 具体的な計画に落とし込む方法を理解する。 8. ここまでの研修内容を踏まえ、総合ケース演習によって問題解決のプロセスの理解を深め、そのポイントを習得する。併せて、実行計画とそのモニタリングの方法、さらに周囲を巻き込み実行するポイントを理解する。